別紙様式１（高）

令和２年度　学校経営計画表

１　学校の現況

学校番号	10	学校名	県立太田第一高等学校	課程	定時制	学校長名	森田　一洋
副校長名	鈴木　清隆	教頭名	[全日制] 西野 守郎 [定時制] 小出 岳夫 [附属中] 荒蒔 克一郎			事務（室）長名	田口　佳実

教職員数	教諭	64	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	4	実習教諭，実習講師，実習助手	1	事務職員	5	技術職員 ALT 等	8	計	94

生徒数		１年		２年		３年		４年		合計		合　計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数
	小学科											
	普通科	3	1	4	1	4	1	0	1	11	4	4

２　目指す学校像

自主的精神に満ちた，心身共に健康で，社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成に努める。

３　現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項　目	現状分析	課　　題
学習指導	・ 基礎学力が十分に定着していない生徒が見られる。 ・ 学習に対する意欲が十分ではなく，学習に取り組む習慣が身に付いていない生徒が見られる。	・基礎学力が十分に定着していない生徒の学力向上を図る必要がある。 ・学習意欲を喚起するための動機付けと理解や進度に個人差がある。
進路指導	・ アルバイトを含む就労率は全体の四割程度であり，勤労観・職業観の形成は十分とは言えない。	・自己理解を深め，望ましい勤労観・職業観を育成する必要がある。
生徒指導	・ 挨拶や時間を守る等の基本的生活習慣が身に付いていない生徒が一部に見られる。	・基本的生活習慣，社会的規範意識を身に付けさせる必要がある。
特別活動	・ 部活動，学校行事等に熱心に取り組む生徒が増えているが，消極的な生徒が見られる。	・生徒の自主的・自発的な活動を進めていく必要がある（「キャリア・パスポート」の活用等）。校内外大会への積極的参加を促す必要がある。
働き方改革への取組	・ 昨年度６月に実施した勤務時間調査において，定時制教職員の一ヶ月平均超過勤務時間数は23時間47分であり，超過勤務縮減に向けて取り組んでいる。	・よりきめ細かな指導を行うため，業務の効率化に向けた教職員一人一人の意識改革を一層進める必要がある。

４　中期的目標

(1) 道徳教育の充実を図り，豊かな心の育成に努める。
(2) 学習指導の充実を図り，基礎的・基本的な学力の定着に努める。
(3) 基本的生活習慣の確立を図るとともに，自主的・自律的な生活態度の伸長に努める。
(4) 生徒・教員・地域住民等による学校評価を踏まえ，学校運営を改善・充実させ，開かれた学校づくりに努める。
(5) 学校行事に対する生徒の主体的な参加に努める。
(6) 勤労観・職業観を育成し，就業指導の充実に努める。
(7) 業務の効率化を進め，生徒一人一人に寄り添う指導の実現に努める。

５　本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 心の教育の充実・豊かな人間性の涵養	自他の生命を尊重し，他人を思いやる心を育て，豊かな人間性を培う。
(2) 基礎・基本の重視，必要に応じた個別の指導計画の策定	きめ細かな学習指導を通して，基礎的・基本的な学力の向上に努める。
(3) 積極的な生徒理解，基本的生活習慣の確立	家庭との連携を密にして，基本的生活習慣の確立に努める。
(4) 情報の共有と臨機応変な判断，充実した学校生活への環境整備	危機管理を徹底し，校内外での事故防止と健康・安全で安心な学校づくりに努める。
(5) 学校行事への積極的参加	生徒会活動・部活動の活性化に努め，他者と協力して社会を生きる力を培う。
(6) 職業に関する多様な知識や情報の提供	勤労観・職業観を育成し，就業指導の充実に努める。
(7) 働き方改革への積極的な取組	業務の見直しを行い，在校等時間の縮減および生徒と向き合う時間の確保に努める。